

令和4年度

卒業証書・専攻科修了証書授与式

祝文(順不同)

祝 辞

全国の5つの商船系学科を有する高等専門学校(高専)を含む51の高専の設置者でございます国立高等専門学校機構(高専機構)の理事長の谷口でございます。

全国の商船高専の令和4年度の卒業式並びに専攻科の修了式にあたり、高専機構を代表いたしまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生・修了生の皆さん、我が国をはじめ世界が長引く新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に対応を迫られる中、数々の困難を乗り越えられてこられて、本日、本科ご卒業ならびに専攻科修了を迎えられました。誠にめでたうございます。

学生諸君は、数日前に2ヶ月半を超える学生としての最後の長い航海を終えて上陸されたばかりで、この卒業式を迎えられています。この間、コロナ感染症によるこれまでとは大きく異なる制限された条件下での様々な訓練を経て、船の中での楽しい中にも厳しい航海実習を乗り越えて、一回りも二回りも成長されたことと思います。今般の航海、よく頑張りました。また、ご苦労様でした。

この2年半余り、コロナ禍の中で、感染拡大防止のための数々の制限の中で、学校生活や日常生活が大きく変化するなど、例年にも増しての大変なご苦労があったものと思います。このような状況の中での皆さんの新たな船出にあたり、皆さん、一人ひとりのこれまでの多大の努力に敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

また、今日まで、限りない愛情をもって成長を見守ってこられました保護者の皆様には、その感慨もひとしおのことと存じます。心より

感謝申し上げます。保護者の皆様におかれましては、どうぞ、大きく逞しく成長された学生諸君を褒めてあげてください。

そして熱意あふれるご指導をされてこられた校長先生をはじめ教職員の皆様におかれましても、今日まで、学生諸君の成長を支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本日、卒業生、修了生の皆さんは、輝かしい歴史と伝統を誇る商船高専での学びを基に、新たな世界へと巣立っていかれます。学生生活の様々な思い出とともに、新たな決意を胸に抱き、前途に思いを馳せておられることと思います。

皆さんは、外洋航海実習を含む極めて厳しい訓練に耐え抜き、知識・技能とともに忍耐力や非常事態にも対応できる適正な判断力をも修得されました。

高専で学んだ多くのことをしっかりと生かし、これからも様々なことに果敢にチャレンジし、一人ひとりが自らの道を力強く切り拓かれていかれますことを心から願っております。

学生諸君の皆さんには、第一に、皆さんの成長を陰に陽に支えて下さった御家族・保護者の皆様への感謝を忘れないで欲しいと思います。また、先輩・後輩などの仲間にも、そして、教職員の方々への感謝も忘れないで欲しいと願っております。

海に囲まれた世界屈指の海洋国である日本（我が国の海の広さ・面積では、世界6位、体積では世界4位、生活や産業を支える物資の輸出入について、重さベースで計算した場合の99.7%は、海運に依存していることは、学生諸君の皆さんはよく知っていると思います）、昨今の国際情勢が緊迫する中で、海上運輸は、特に、この海洋国日本にとって、極めて重要な役割を担っています。この海洋国日本にとって皆さんは、我が国の海運を支える重要な人材です。まさに、社会の財産、宝である人「財」です。このことは、忘れないでいただきたいと思います。

また、船舶は、近年の様々な自然災害に際しても、物資の運搬はもとより、人を救助することにも大きな役割を果たしています。船舶は、我々の生命線と言っても過言ではない極めて重要な役割を果たしています。皆様は、人や社会のために、その重要な役割を担う大きな任務を与えられています。このことを改めてしっかりと認識しておいてください。

皆さんは、無限の可能性に満ち溢れています。社会の宝としての自負を持って、また自信を持って、今まで得た知識や技能・技術、人間力を最大限に発揮し、海洋国日本の明るい未来の担い手として、世界を舞台に羽ばたいてください。

結びに、大きな夢と希望を抱いてそれぞれの道へと進まれる皆さんの将来が、豊かな実りと、多くの喜びにあふれることを心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

本日の大いなる船出、誠におめでとうございます。

Bon Voyage !!

令和4年9月吉日

独立行政法人国立高等専門学校機構
理事長 谷口 功

栄えある

卒業証書・専攻科修了証書授与式を祝し

心からお慶び申し上げますとともに

ご卒業の皆様

輝かしい明日への御活躍と

貴校の益々の御発展を

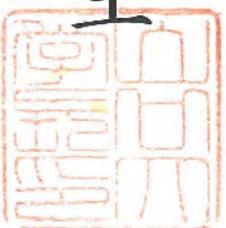
お祈り申し上げます

令和四年九月吉日

山口大学長

谷澤

幸生



令和四年度卒業証書・専攻科修了証書授与式・の
御盛典を祝し、卒業生・修了生諸君のご多幸を
お祈りいたします。

令和四年九月吉日

神戸大学大学院海事科学研究科長

阿部 晃久

大島商船高等専門学校長 殿



お祝い

お届け台紙名 『カトレア』

お届け日 2022年09月20日

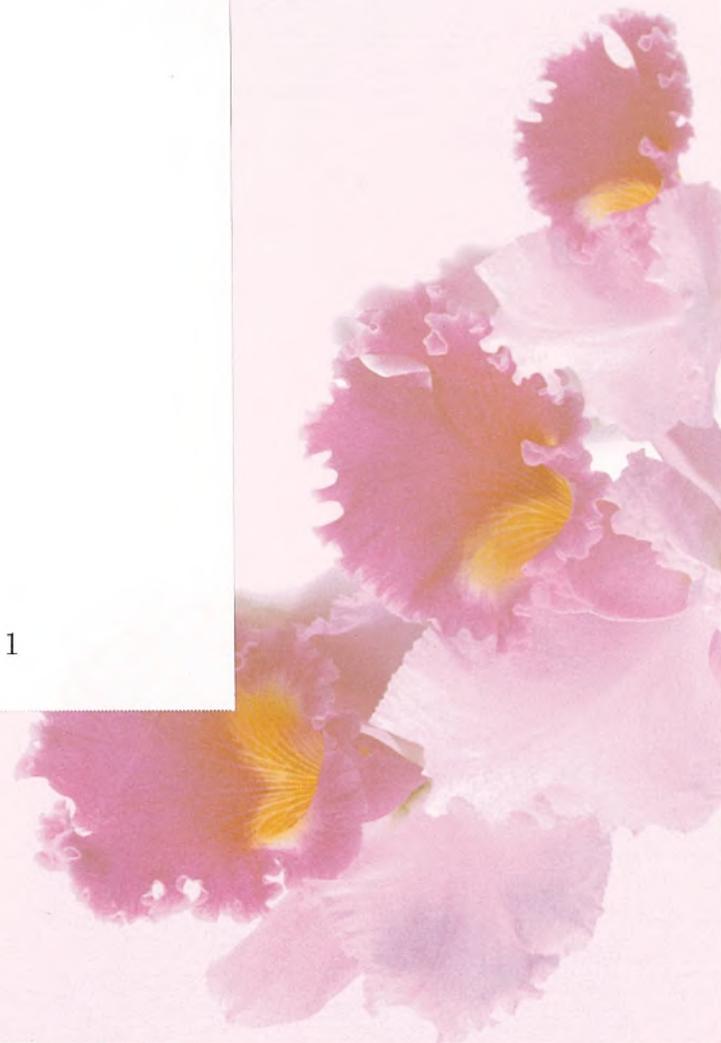
大島商船高等専門学校長

古莊 雅生 様

栄えある卒業証書・専攻科修了証書授与式を祝すとともに、卒業生
・修了生の皆様の今後一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

国立大学法人東京海洋大学長 井関 俊夫

6051-004641



祝
文

栄えあるご卒業ならびにご修了を祝し
今後のご活躍を祈念いたします

令和四年九月吉日

徳山工業高等専門学校長

勇 秀 憲

大島高船高等専門学校

卒業生、修了生ご一同様

祝文

御卒業並びに御修了

おめでとうございます

皆様の今後益々のご活躍を

心からお祈り申し上げます

令和四年八月吉日

宇部工業高等専門学校

校長 山川 昌 男

御盛典を祝し

洋々たる前途に幸多加れと

お祈り申し上げます

富山高専専門学校長

國枝佳明

祝詞

栄えある卒業式並びに修了式を
祝し卒業生修了生の皆様の今後の
ご活躍と貴校のますますのご発展
をお祈りいたします

令和四年九月吉日

弓削商船高等専門学校長

石田邦光

祝文

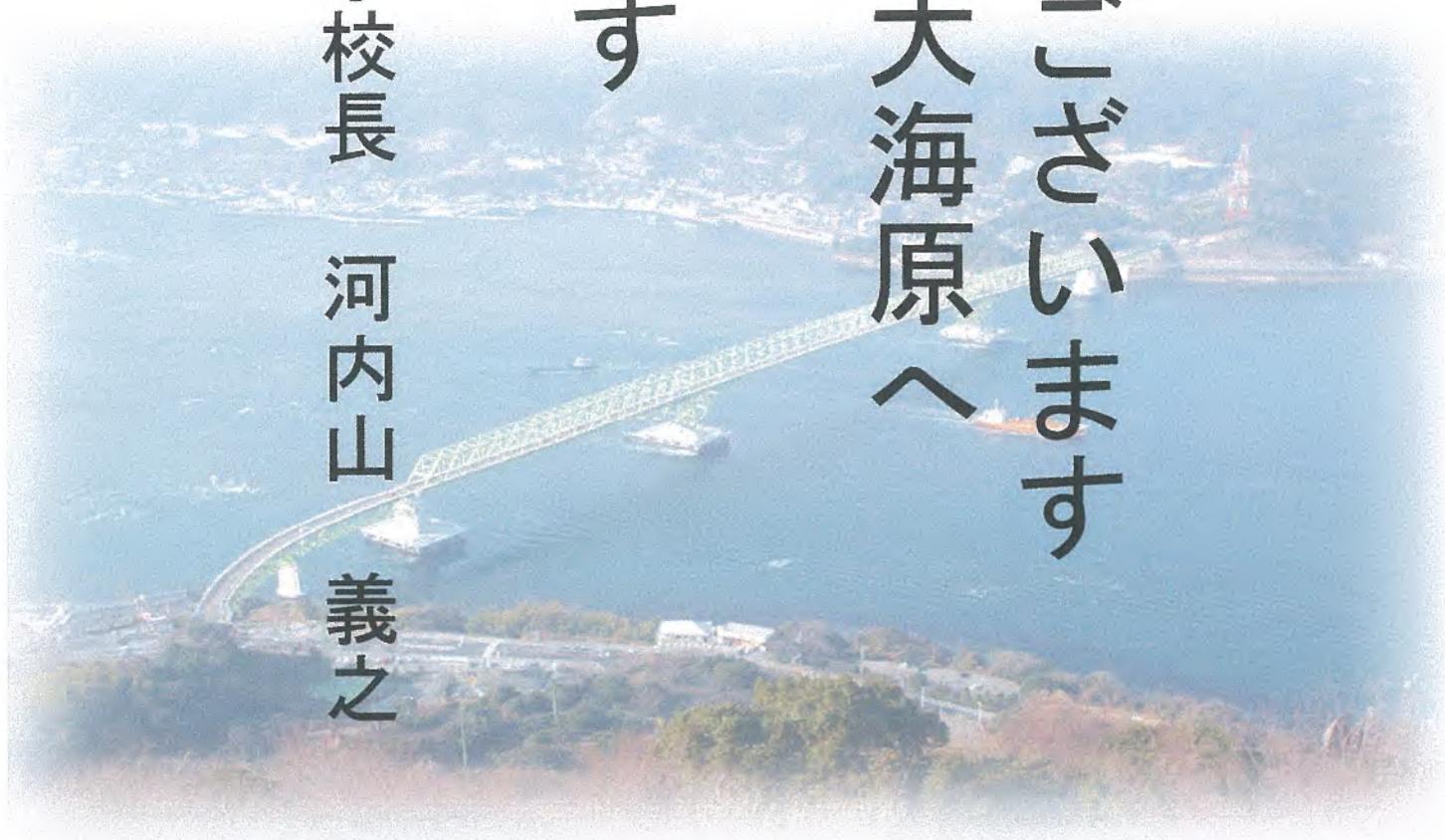
御卒業おめでとうございます
夢と希望に満ちた大海原へ
船出する若人に
幸多かれと祈ります

令和四年九月吉日

周防大島町立大島中学校長

河内山 義之

卒業生御一同様





お祝い

お届け台紙名 『慶び』

お届け日 2022年09月20日

大島商船高等専門学校
校長 古莊 雅生 様

栄えある、令和4年度商船学科卒業式・専攻科修了式の開催にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

卒業生皆様の門出を祝し、前途に幸多かれとお祈りいたします。

川崎汽船株式会社

代表取締役社長

明珍 幸一 (みょうちん ゆきかず)

6051-004636

お祝い

お届け台紙名 『カトレア』

お届け日 2022年09月20日

大島商船高等専門学校
校長 古莊 雅生 様

令和4年度 商船学科卒業式・専攻科修了式の開催を心よりお祝い申し上げます。これまでに培った知識と経験を活かし、新たなる世界へ船出する皆様へ、さらなる飛躍を期待しております。

川崎汽船株式会社

専務執行役員

綾 清隆 (あや きよたか)

6051-004635



お祝い

お届け台紙名 『はなやか』
お届け日 2022年09月20日

大島商船高等専門学校
校長 古莊 雅生様

卒業証書授与式をお祝い申し上げます。卒業生の皆様におかれましては、希望の船出に幸多かれとお祈り致します。

日本郵船株式会社
代表取締役社長 長澤 仁志

6051-004638



お祝い

お届け台紙名 『ハーモニー』
お届け日 2022年09月20日

大島商船高等専門学校
校長 古莊 雅生様

卒業証書授与式をお祝い申し上げますとともに、卒業生ご一同の前
途のご多幸とご活躍をお祈り致します。

日本郵船株式会社
専務執行役員 小山 智之

6051-004637



お祝い

お届け台紙名 『カトレア』

お届け日 2022年09月20日

大島商船高等専門学校 校長

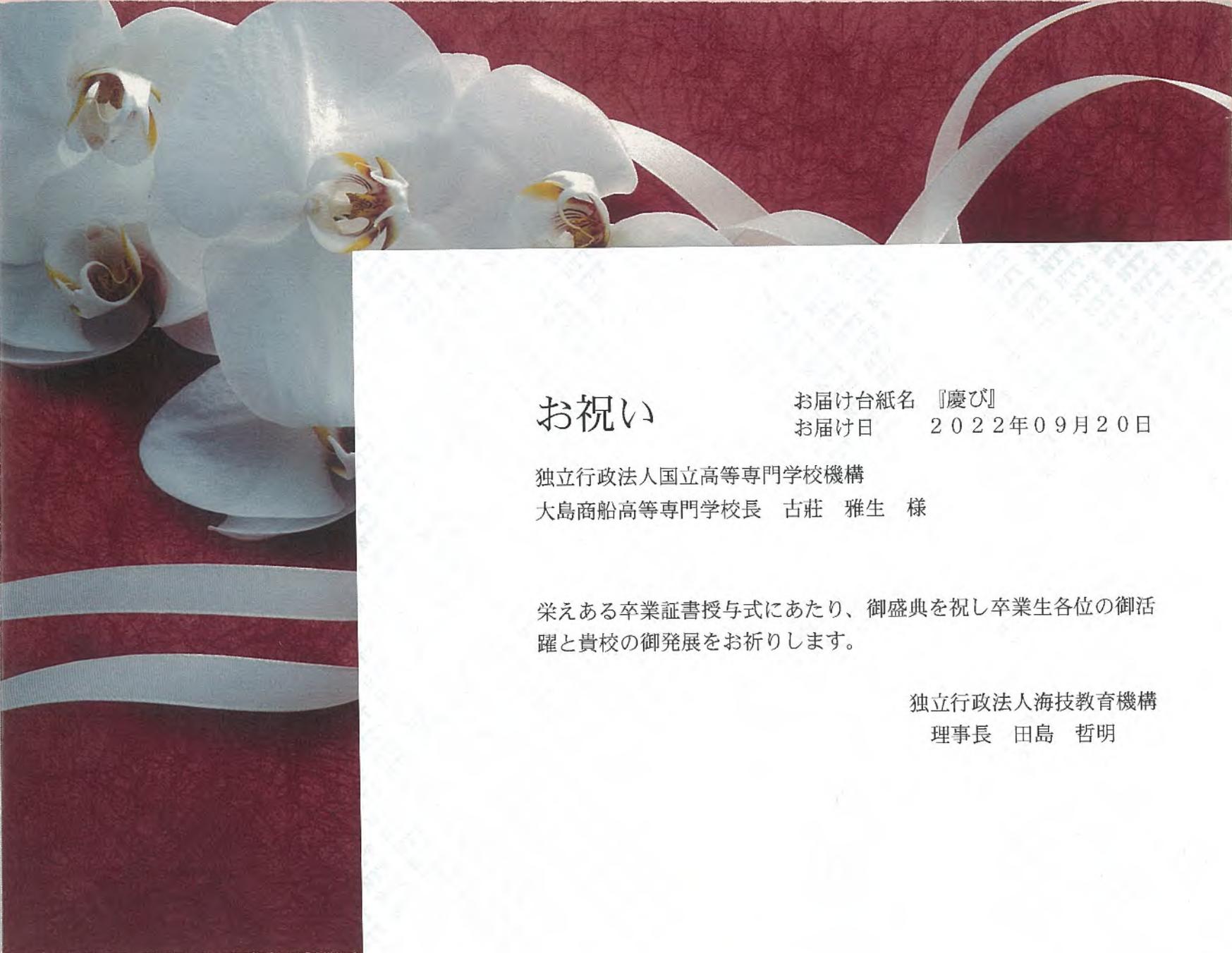
古莊雅生 殿

卒業生の皆様の晴れの門出をお祝い申し上げます。今後のご活躍をお祈り致します。

一般社団法人日本船主協会
会長 池田潤一郎

6051-004639





お祝い

お届け台紙名 『慶び』

お届け日 2022年09月20日

独立行政法人国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校長 古莊 雅生 様

栄えある卒業証書授与式にあたり、御盛典を祝し卒業生各位の御活躍と貴校の御発展をお祈りします。

独立行政法人海技教育機構

理事長 田島 哲明

大島商船高等専門学校 商船学科 御中

大島商船高等専門学校の皆様、ご卒業おめでとうございます。
いよいよ自分の夢に向かっての新しい一歩を踏み出しますが、
皆様の前には無限の可能性のある大海原が広がっています。
これまでに学んだ知識と経験がこれからの皆様を支えていくことでしょう。
心より皆様のご活躍を祈念申し上げます。

美須賀海運株式会社
代表取締役社長 岩井正実



卒業生 修了生の皆様

ご卒業ならびに専攻科修了 おめでとうございませす

諸先生方の教えのもと勉学に運動に精励され
今日の日を迎えられるにあたり心よりお祝い
申し上げます

コロナ禍において 色々な状況や想いも
乗り越えられてきたことと存じますが
今後進まれる様々な道でも 夢に向かって
邁進しご活躍されることをお祈りいたします
本日は誠におめでとうございませす

令和四年 九月 二十一日

内閣総理大臣補佐官

衆議院議員 山岸信夫

